



2021 年 4 月改訂（初版 2020 年 12 月）

株式会社 日本 HP

HP Reverb G2 VR Headset セットアップ手順 v2.0

ここに記載されている情報の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。引用された製品は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。記載事項は 2020 年 11 月現在のものです。

本書について

本書では、表題の VR ヘッドセットを HPZ ワークステーションにセットアップする方法を説明します。なお、本書は Windows 10 20H1 にて検証を行っております。

本製品使用における必要最低構成

- 本書作成時点で動作確認が取れているグラフィックスカードは以下の通りです。グラフィックスカードメーカー発表の VR Ready モデルのうち、いくつかサポートされないものがありますので、使用予定のマシン構成を必ずご確認ください。なお DisplayPort™ 1.3 以上を実装している必要があります。

< コンシューマーグラフィックス >

- NVIDIA® GeForce® GTX 1080 / NVIDIA® GeForce® GTX 1080 Ti
- NVIDIA® GeForce RTX™ 2060 Super / NVIDIA® GeForce RTX™ 2070 / NVIDIA® GeForce RTX™ 2070 Super / NVIDIA® GeForce RTX™ 2080, NVIDIA® GeForce RTX™ 2080 Super / NVIDIA® GeForce RTX™ 2080 Ti
- AMD Radeon™ RX 5700 / AMD Radeon™ RX 5700 XT / AMD Radeon™ 7

< ワークステーショングラフィックス >

- NVIDIA® Quadro® P5200
- NVIDIA® Quadro RTX™ 4000 / NVIDIA® Quadro® RTX™ 5000 / NVIDIA® Quadro RTX™ 6000 / NVIDIA® Quadro RTX™ 8000
- AMD Radeon™ Pro WX 8200 / AMD Radeon™ Pro WX 9200
- AMD Radeon™ Pro W5700

【注】 モバイルワークステーションの場合、上記グラフィックスを常時有効にするために BIOS 設定を変更する必要があります。詳細につきましては後述します。

- OS は Windows 10 May 2019 (Version1903)以降が必須です。
- CPU の最低要件は以下の通りです。
インテル® Core™ i7 / インテル® Xeon® E3-1240 v5
- メインメモリを 16GB 以上搭載頂く必要があります。



- 電源供給可能な USB Type-C ポートを必要としますが、製品には USB Type-C to Type-A 変換コネクタも同梱されております。

【必須】 セットアップ作業時のインターネット接続

本製品は「Windows Mixed Reality」規格に準拠しており、本来この規格は常時インターネット接続されていることが前提です。セットアップ時に Windows Update が必要となる場合がありますが、**グループポリシーや WSUS 設定が原因でセットアップ継続不可になる事例の報告があります**。企業にてお使いの場合、製品の導入前に問題が無いか必ずご確認ください。

その他にも Windows Update には含まれない、Windows Mixed Reality ヘッドセット専用ドライバーの入手が必要であり、結果的に**セットアップ作業時のインターネット接続は必須となります**。

WSUS サーバーを導入済みの法人様における追加作業

Microsoft 社より、WSUS サーバーを導入済みの環境におけるセットアップ中断を回避するためのドキュメントが発行されております。該当するお客様におかれましては、IT 管理者様と相談の上で設定頂くことをお勧めします。

企業で Windows Mixed Reality アプリを有効化またはブロックする

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/windows/application-management/manage-windows-mixed-reality>

ボリュームライセンス版の OS をインストールしているお客様におかれましては、詳細ご相談先は Microsoft 社となります。

注意

「Windows Mixed Reality」および「Windows Mixed Reality for SteamVR」は常にアップデートされ続けており、お客様のセットアップ実施時期によっては本書の内容と同一ではない可能性があります。

【重要】 事前準備

- Reverb のセットアップを行う前に、各機種の最新 BIOS / Thunderbolt 3 ファームウェアへアップデートを行って下さい。
- 同様に、NVIDIA グラフィックスドライバーも最新版へ更新を行って下さい。
- Windows Update を実施して、最新の Windows 10 更新プログラムを入手して下さい。
- < 本内容はデスクトップ型には該当しません >

ZBook15/17 シリーズの Dream Color モデル以外は、ハイブリッド・グラフィックス機能が有効化されています。この機能は本体の負荷を検知して Intel CPU 内蔵グラフィックスと NVIDIA Quadro のどちらかに制御を切り替えるものですが、前者は VRReady ではありません。そのため BIOS 設定を変更して、グラフィックス制御を NVIDIA Quadro に固定頂く必要があります。以下、設定手順です。

<手順1> ワークステーション電源投入時に F10 キーを押下して、BIOS セットアップを起動します。

<TIPS> F10 キー押下が間に合わず、BIOS セットアップ画面に入れない場合

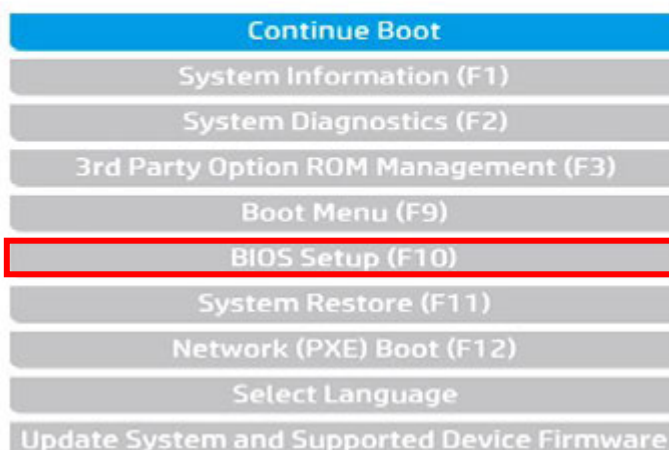
Z ターボドライブ G2 搭載モデルは OS 起動が極めて高速なため、電源投入直後の起動ドライブ選択タイミングに間に合わず、OS 起動に至ってしまうことがあります。この場合は OS からコマンド操作を行うことで、再起動時に強制的に Startup Menu へ移行することができます。以下、操作方法です。

- I. コマンドプロンプトを管理者権限で起動します。Win キー押下後、cmd と入力します。候補として「コマンドプロンプト」が表示されましたらカーソルキーを合わせた後、Ctrl + Shift + Enter を同時押しします。
- II. 以下のコマンドを入力します。失敗する場合はカーソルキーの上を一度押して再入力します。

```
shutdown /r /fw /t 0
```

- III. ワークステーションは自動的に再起動後、Startup Menu を表示します。
- IV. カーソルキーで「BIOS Setup Menu (F10)」を選択後、Enter キーを押下します。

Startup Menu



<手順2> Advanced > Built-in Device Options の順に選択後、Graphics 項目を「Discrete Graphics」に変更します。

<手順3> F10 キーを押下して Yes を選択することで、変更済みの内容を保存します。

NVIDIA Quadro へのグラフィックス制御固定化は以上で完了です。

HP Reverb G2 VR Headset のセットアップ手順

①組み立て

1 - 1 フェイスマスク部を取り外す

フェイスマスクはマグネット固定されていますので、簡単に取り外せます。



1 - 2 付属品ボックスからケーブルを取り出し、ケーブル保持部分へケーブルをくぐらせる
ヘッドセット本体後部のリング状のケーブル保持部分はツメで固定されており、簡単に取り外すことが
出来ます。上方向に引っ張り上げて取り外し後、下図のようにケーブルをくぐらせて再度固定します。
Reverb G2 へ接続するのは、先端が1本の側です。



1 - 3 接続部を Reverb G2 へ挿入する
ケーブル挿入位置はこちらです。



ケーブルの向きは以下の画像の通りです。



正しく挿入された場合、以下の画像のように根元まで挿し込まれます。



完了しましたら、フェイスマスクを元通りに装着します。

1 - 4 補助電源コネクタ装着

付属品から補助電源コネクタと電源ケーブルを取り出し、コンセント接続後にケーブルの所定位置へ装着します。



1 - 5 コントローラーへ乾電池を入れて、電源を On にする

乾電池は製品に付属しております。装着後コントローラーの Windows キーを長押しして電源を On にします。

②ワークステーションに Reverb G2 を接続する

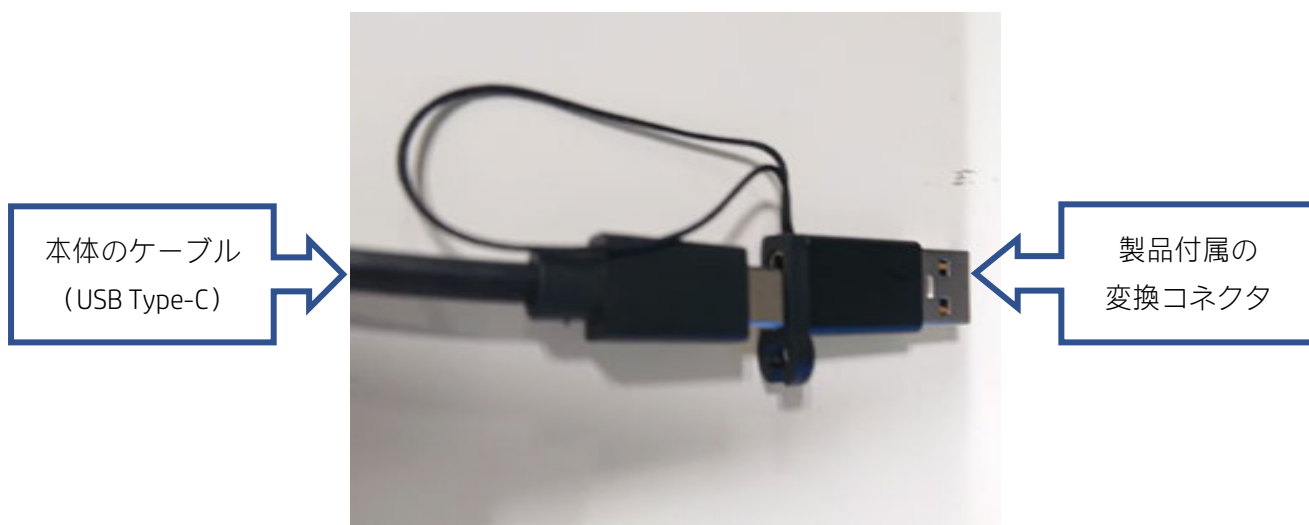
Reverb G2 付属のケーブルを、ワークステーションの DisplayPort と USB Type-C ポートに接続します。

<HPZ モバイルワークステーション G7 シリーズの場合>

製品付属の Display Port to Mini Display Port 変換コネクタを使用して頂き、Reverb G2 のケーブルを本体右側面の Mini Display Port と接続します。

<デスクトップワークステーションの場合>

ワークステーション本体が USB Type-C ポートを備えていない場合、製品付属の USB Type-C to Type-A 変換コネクタを使用して下さい。この際、次項冒頭の内容にくれぐれもご注意下さい。

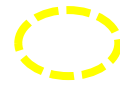


【デスクトップ型ワークステーションにおける重要な注意点】

グラフィックスカードに USB Type-C ポートが付いている場合、決して使用してはいけません。必ず USB Type-C to Type-A 変換コネクタを使用してワークステーション本体へ接続して下さい。

これはグラフィックスカードから Reverb G2 へ給電が行われた場合、負荷増大時にグラフィックスカード自体が消費する電力量が不足してしまい、意図せぬ不具合が発生する可能性があるためです。





③Windows Mixed Reality ポータル起動

Win キー押下後、Mix と入力すると複数の候補が表示されますので、Windows Mixed Reality **ポータル**にカーソルを合わせて Enter キーを押下します。起動後、「開始する」をクリックして下さい。



④設定する⇒互換性確認

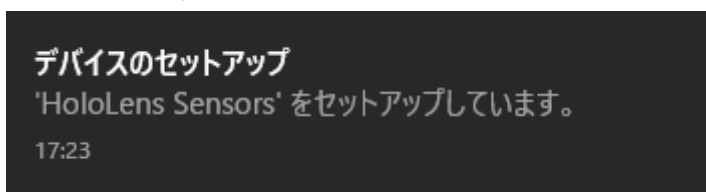
[設定する]画面にて「同意」押下すると、自動的にハードウェアの互換性確認が行われます。

機器によっては Bluetooth (コントローラー用) に ! マークが付きますが、本製品のコントローラーはヘッドセット側と事前にペアリング済みですので、そのまま「次へ」をクリックします。**オフライン環境の場合はインターネット接続を求められますので、ネットワークに接続して下さい。**



⑤セットアップの準備 ~ Windows Mixed Reality ポータル起動

その後、追加ドライバーインストールが始まります。このドライバーは Windows Mixed Reality ヘッドセット専用の物であり Windows Update には含まれず、このセットアップ作業においてのみ自動でダウンロードされます。



「セットアップの準備」で OS が HP Reverb G2 のドライバーを自動的に更新後、Windows Mixed Reality ポータルが起動します。接続を確認するようにメッセージが出ることがありますが、この場合はワークステーション側につないだケーブルを一旦取り外した後、再度差し込んで下さい。

⑥セットアップの選択

動き回る予定のある場合は「あらゆる使い方のセットアップ」を選択します。動き回らない場合は「座ったり立ったりして使うときのセットアップ」を選択頂いても結構です。

⑦（動き回る場合）境界のトレースを行う

「あらゆる使い方のセットアップ」を選択した場合、画面の指示に従ってトレース（移動範囲の設定）を行います。

⑧画面中央の設定

画面の指示に従い、今後のアプリケーション起動時における中央の位置を設定します。

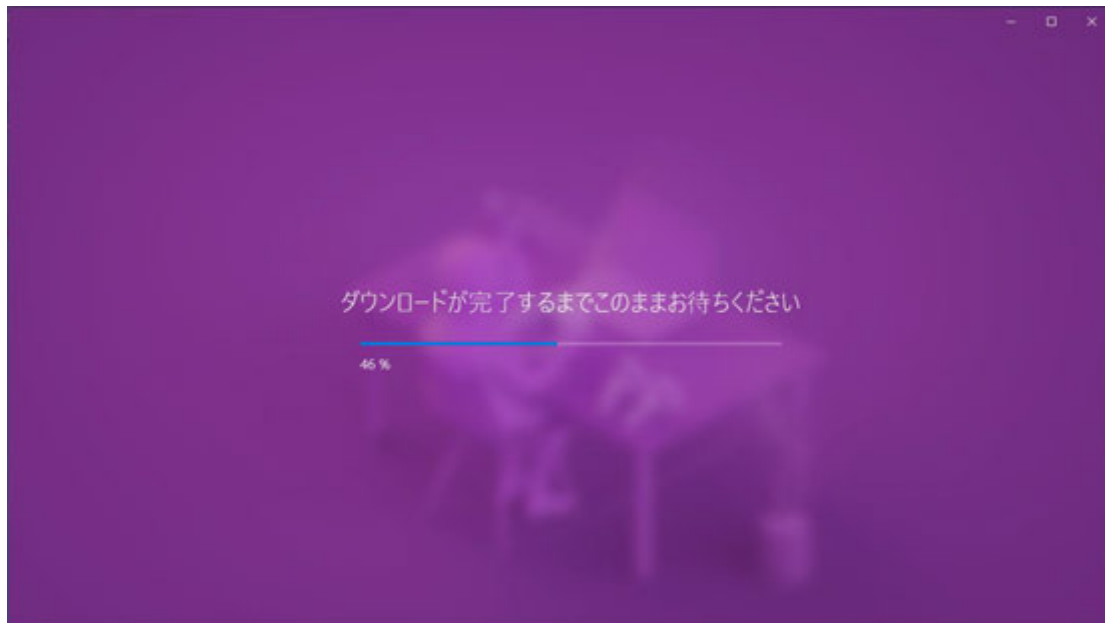
⑨音声認識の確認

ワークステーション本体に別途 MIC を接続して音声入力を行う場合、MIC を接続して「音声認識を使用する」を選択します。

< 参考 >

VR 画面のスクリーンキャプチャや録画を行う場合、Cortana を使用して音声で操作することが可能になります。

この直後、再びダウンロードが開始されます。



「Windows Mixed Reality をインストールできませんでした」表示が出る場合

Windows Mixed Reality をインストールできませんでした。

Windows Mixed Reality の更新が必要です。[設定] > [更新とセキュリティ] に移動して、更新プログラムを確認してください。 [詳細情報](#)

画面の指示に従い Windows Update を行って下さい。Windows Update は複数回必要な場合があります。アップデート後の再起動を行っても同様の表示が出る場合、再度 Windows Update を行って下さい。アップデートが完了しましたら OS を再起動頂き、手順③へ戻ってセットアップ作業を続けます。

⑩セットアップの完了

OS と Windows Mixed Reality ポータルのアップデートが完了しますと、セットアップ完了の旨が表示されます。以降は Reverb を実際に装着頂き、コントローラーを使用して操作説明のチュートリアルを行います。このチュートリアルは必ず進めて頂き、Cliff House（崖の家、Windows Mixed Reality ポータルの初期画面）への移動まで済ませる必要があります。Cliff House へ移動さえ行えればチュートリアル終了判定されるようです。

Windows Mixed Reality for SteamVR をセットアップする

Windows Mixed Reality ポータルは OS に紐付いたアプリケーション（メールや映画など）を操作することに特化し

ており、一般的な CAD ソフトの VR 機能は Steam VR を使用するケースが多いようです。

但し Steam VR は元々 HTC VIVE や OCURUS 等のサードパーティ製品におけるプラットフォームであり、Windows Mixed Reality ヘッドセットを動作させるには専用のプラグインをインストールする必要があります。

以下、インストール方法を説明します。

< 1 > Steam のダウンロードとインストール

ブラウザで Steam ダウンロード先を検索・移動の上、Steam をインストールします。インストール後そのまま起動頂くと、Steam は自動的にアップデートを行います。

< 2 > Steam へログインする

ご自身のアカウントでログインします。

< 3 > 認証キーの入力

Steam アカウント作成時に登録済みのメールアドレスに届いているアクセスコードを入力します。

< 4 > Windows Mixed Reality for SteamVR のインストール

Steam のメイン画面が開くので、Windows Mixed Reality for SteamVR をインストールします。



以降、Windows Mixed Reality ポータルを起動すると Windows Mixed Reality 向けの Steam VR が自動で起動します。

セットアップは以上で完了です。